

# JOYO BANK

常陽銀行ディスクロージャー誌

## 2014

未来協創  
プロジェクト **PLUS**

## 第123期 事業のご報告

平成25年4月1日～平成26年3月31日



常陽銀行

# トップメッセージ ～総合金融サービスの提供により、お客さま、地域の復興と成長に貢献します～

平成25年度のわが国経済は、三本の矢を柱とするアベノミクスのもと、デフレ脱却、経済再生に向けた政策展開により、緩やかに回復が進みました。茨城県経済においては、前半は、輸出が低水準で推移し、生産も横ばい圏内の動きにとどまりましたが、後半は、個人消費や住宅投資が増加し、景気持ち直しの動きが広がりました。

こうした金融経済環境のもと、当行は、目指す姿を「地域と共に成長するベストパートナーバンク」とする第11次中期経営計画(平成23年度～平成25年度)を展開しました。当期はその最終年度として、お客さま、地域の復興と成長に貢献するため、以下のとおり諸施策を実施しました。

法人分野では、円滑な資金供給に引き続き取り組んだほか、地域のものづくり企業が大手企業と共同で新技術開発等を目指す「事業協創プロジェクト『アクションD』」を開始し、新事業創出への取り組みを強化しました。また、「常陽ビジネスアワード」を昨年度に続いて開催し、地域に潜在する革新的・創造的な事業プランの発掘にも取り組みました。アグリビジネス支援では、「常陽 大地

と海の成長支援ファンド」を組成し、農林漁業者の6次産業化への支援態勢を充実させたほか、「食の商談会」を中心とする当行の取り組みが、農林水産省主催の「フード・アクション・ニッポン アワード」において2年連続で受賞するなど、高い評価をいただきました。

個人分野では、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の開始に向けて投資信託商品の品揃えを拡充し、お客さまの幅広い資産運用ニーズにお応えしました。また、お客さまの資金調達面では、全国で初となる家賃返済型の「常陽リバースモーゲージローン『住活スタイル』」を開発し、住み替えやセカンドライフニーズへの対応を強化いたしました。さらに、信託会社との業務提携を拡大し、円滑な資産承継など、お客さまの多様化するニーズにお応えする態勢の充実を図りました。

店舗ネットワークでは、埼玉県さいたま市に「さいたま支店」を開設したほか、小山支店内に先行開設していた「栃木支店」を本年4月に栃木市内に移転開店するなど、茨城県との経済交流の活発化を見越した隣接有望市場への積極的な店舗展開を行いました。また、本年秋に予定

## 経営理念

### 『健全、協創、地域と共に』

地域金融機関として、お客さまのため、地域のために  
何ができるのか、懸命に考え実践してまいります。

## 当行の概要

(平成26年3月31日現在)

創 立	1935年(昭和10年)7月30日
資 本 金	851億13百万円
店 舗 数	国内：179店舗(本支店152、出張所27) 店舗外現金自動設備 234カ所 海外：2駐在員事務所(上海、シンガポール)
従 業 員 数	3,671名
本 店	茨城県水戸市南町2丁目5番5号
格 付	(長期格付) 格付投資情報センター (R&I) AA- ムーディーズ A2

しているニューヨーク駐在員事務所の開設を米国当局に申請し、経済のグローバル化に対応した情報収集力の強化とお客さまの海外進出ニーズにお応えする態勢の充実に向け準備を進めました。

こうした取り組みにより、平成25年度の業績は、貸出金利回りの低下に伴い資金利益が前年度を下回ったものの、経常利益は、前期比41億円増加の358億円、当期純利益は、前期比16億円増加の220億円となりました。銀行の健全性を示す自己資本比率は、単体で12.19%、連結で12.60%となり、引き続き高い水準にあります。

なお、株主の皆さまのご支援にお応えするため、平成25年度の年間配当は、前年度から50銭増配し1株当たり9円にさせていただきました。

また、本年4月には、お客さまの海外進出時における外貨建貸出にお応えするため、ユーロ米ドル建取得条項付転換社債型新株予約権付社債3億米ドルを発行しました。同時に、資本効率の一層の向上を通じて株主の皆さまへの利益還元の充実を図るため、自己株式2,000万株の取得ならびに消却を決議しました。

平成26年度からは、新たに「第12次中期経営計画」をスタートしました。本計画では、目指す姿を「地域の未来を協創するベストパートナーバンク」と定め、総合金融サービスの提供を通じて、社会・経済構造の変化に伴う地域の課題をお客さま、地域とともに解決し、当行グループ自らの成長にも繋げてまいります。なお、「常陽地域復興プロジェクト『絆』」を通じて展開してきた大震災からの復旧・復興への取り組みにつきましては、新たに「未来協創プロジェクト『PLUS+』」として活動を充実してまいります。

今後とも、お客さま、株主の皆さま、地域の皆さまのご期待にお応えできるよう、役職員一同全力を尽くしてまいります。引き続き一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成26年6月  
取締役頭取

寺門一義



## 【目次】

トップメッセージ	1	地域密着型金融・金融円滑化への取り組み	15
第12次中期経営計画	3	地域社会への貢献	16
未来協創プロジェクト「PLUS+」	4	株主の皆さまへ	18
常陽地域復興プロジェクト「絆」	5	財務諸表(連結)	19
業績ハイライト	7	財務諸表(単体)	20
資産の健全性	10	常陽ネットワーク	21
個人のお客さまへ	11		
法人のお客さまへ	13		

※ 本誌に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

目指す姿

目指す姿の実現に向けた5つの基本戦略

地域の未来を協創するベストパートナーバンク

～総合金融サービスの進化により、

お客さま、地域と価値ある事業を創造し、共に成長していく～

1 協創力の発揮

社会・経済構造の変化によって生じているさまざまな課題をお客さま、地域と共有し、創意工夫にもとづく総合金融サービス機能の提供により、お客さま、地域の課題解決に貢献する「協創力」を発揮してまいります。

取り組みにあたっては、「未来協創プロジェクト『PLUS+』」を立ち上げ、当行グループ一丸となって推進してまいります。

2 顧客基盤の拡充

協創力の発揮には、お客さま、地域との課題共有・解決の前提となる、深い信頼関係にもとづいた取引浸透と取引先ネットワークの充実が不可欠であり、いばらき圏の中での「顧客基盤の拡充」を進めてまいります。

3 市場運用力の強化

グローバル化やセキュリティゼーション(証券化)の進展を踏まえ、貸出金増強のみならず、収益力の強化に向け、有価証券運用および外貨建貸出金等の増強による「市場運用力の強化」に取り組んでまいります。

4 現場力の革新

お客さま、地域との課題の共有・解決に向けた接点強化を目指し、ダイレクトバンキングを活用した営業力強化やチャネル連携の強化、効果的な営業チャネルの構築等による「営業チャネルの革新」に取り組んでいきます。また継続的なBPR推進態勢の構築により、「営業・事務プロセスの革新」を進めてまいります。

5 人材ポートフォリオの再構築

目指す姿の実現に向け最も重要な経営資源である人材について、自律的な育成支援の充実に加え、育成体系の再構築を含めた組織的な人材育成態勢の強化と、総合金融サービスにおける活躍機会の拡大に取り組んでまいります。

経営目標

連結純利益の拡大

計数目標  
(平成28年度)

● 連結純利益	300億円以上	● OHR <sup>※1</sup>	60%未満
● 単体純利益	270億円以上	● ROE <sup>※2</sup>	5%程度
● 単体経常利益	400億円以上	● 連結自己資本比率	12%程度
● 単体業務粗利益	1,200億円以上		

※1 OHRは経営効率を測る代表的な指標で、1単位の業務粗利益を獲得するためにどの程度の経費を使用したかを示すものです。

※2 ROEは資本効率を測る代表的な指標で、株主資本を使ってどれだけ利益をあげたかを示すものです。

平成26年4月、お客さま、地域の課題解決に向けて、「未来協創プロジェクト『PLUS+』」をスタートしました。当行グループ一丸となり、プロジェクトを推進してまいります。



## 【ロゴマークについて】

- ・オレンジ色は、それぞれ「お客さま」「地域」「常陽銀行」を、赤色は「生まれる(プラスされる)価値」を表します。
- ・4つの組み合わせにより「+」を表すとともに、4つが風車のように回転し、新しい価値を生み出していくイメージも表現しています。

## 3つの「プラス」

1. 地域の課題解決を通し、お客さま、地域、当行グループの未来にとって「プラス」の側面をもたらすことを目指してまいります。さらに東日本大震災からの復興支援に対して、従来にも増して取り組んでまいります。
2. 「運用・調達・決済」という「お客さま、地域の経済活動に不可欠な機能」に「コンサルティング・ITという創造性を提供する機能」を融合(プラス)させた「総合金融サービスの進化」を目指してまいります。
3. 地域の課題解決に向け、職務へのやりがいと活躍機会が広がる「プラス」思考で行動してまいります。

## プロジェクト方針

地域の課題解決に向けた総合金融サービス機能の活用可能性を探求し、価値ある事業の創造に資する企画・実行を積み重ね、お客さま、地域とともに未来を協創してまいります。

地域の未来を協創する  
ベストパートナーバンク

## 未来協創に向けた3つの柱

1. 円滑な資金供給による課題解決
2. 地域活性化・産業振興による事業創造
3. 地域の未来への社会貢献

【個人】豊かな生活への貢献  
【法人】成長産業の後押し  
【公共】活力ある地域社会の創造

「常陽地域復興プロジェクト『絆』」への3年間にわたるご支援・ご協力ありがとうございました。平成26年4月、プロジェクト「絆」は、新たに「未来協創プロジェクト『PLUS+』」としてスタートしました。今後とも、さまざまな取り組みを展開してまいります。

## 資金ニーズへの対応

当行独自の融資商品「常陽震災復興支援融資『絆』」（事業者向け、個人向け）や、株式会社日本政策投資銀行と共同で組成した「いばらき絆ファンド」を活用し、震災復興にかかるお客さまの資金ニーズに積極的にお応えいたしました。常陽震災復興支援融資「絆」は、平成26年3月末現在で、累計約1,251億円のご利用をいただきました。

## 事業協創プロジェクト「アクションD」

地域のものづくり企業等と大和ハウス工業株式会社が成長分野における新たな技術・商品開発等を共同で行い、新事業を創出することを目的としたプロジェクトです。平成25年10月と11月に個別プレゼンテーションを実施した65社のうち4社が、今後大和ハウス工業と共同で事業化を進めていく予定です。

## 第6回 常陽 ものづくり企業フォーラム

平成25年11月、ものづくり事業者の事業拡大に向けて、地域のものづくり企業と大手企業、400社1,050名の方々にご参加いただき、商談会、商品・パネルの展示会、交流会を実施しました。また、ものづくり企業の雇用や産学官金連携のきっかけとすべく、筑波大学、茨城大学、茨城工業高等専門学校の前先生や学生の方々にもご参加いただき、出展企業との交流を図りました。

## 6次産業化支援



平成25年11月、6次産業化<sup>\*</sup>による新事業創出・付加価値の創造に向けて、株式会社常陽産業研究所、株式会社農林漁業成長産業化支援機構と共同で

「常陽 大地と海の成長支援ファンド」（ファンドの規模10億円）を組成しました。平成26年3月には、「新たな事業を創り出す6次産業化セミナー」を開催し、成功事例やファンドの活用などについてご紹介しました。

※6次産業化…1次産業である農林漁業者が、その生産だけにとどまらず、加工食品の製造・販売（2次産業）や小売・観光農園など（3次産業）に取り組むことで、新たな付加価値の創造につながるという考え方。

## 産学官金連携「第4回ひざづめミーティング for アグリ」

平成25年12月、茨城大学と連携し、食に関する技術課題の解決や新商品開発を目的として開催しました。さまざまな食の研究を行う茨城大学農学部の前先生方10名と取引先企業など18社が参加し、食品加工の工程で廃棄される未利用食料資源や、機能性食品の開発・活用などについてひざづめ（少人数）で意見交換を実施しました。



## 第13回 常陽 食の商談会2014水戸

平成26年2月、食関連事業者の販路拡大・食材仕入・相互交流などを目的に、13回目となる「常陽 食の商談会」を開催しました。農業生産者、食品加工・卸業者、小売業者など、約200社が出展、1,300社2,800名が来場し、約500件の商談が行われました。また、「常陽 食の商談会」は農林水産省等が主催する「第5回フード・アクション・ニッポン アワード2013」において「審査委員特別賞」を受賞しました。



## つくば市産業立地視察会

平成26年2月、つくば市との産業振興に関する連携協定に基づき、産業集積に向けた企業誘致の促進を図ることを目的として開催しました。つくば市への進出を計画、または進出に興味をお持ちの茨城県外に所在する企業43社69名が参加し、業務用地の視察や国の研究機関の見学、また先端技術の体験などを実施しました。



## 茨城県の理科教育推進への助成

平成26年3月、茨城県が実施する「いばらき理科教育推進事業」への支援を通じ、「科学技術創造立県いばらき」の未来を担う人材の育成に貢献するため、同事業のモデル校等に対し、教育資金の助成金として1千万円を寄贈しました。助成金は、当行の預り資産商品の新規ご購入や口座開設「1件につき500円」を原資としています。平成26年度に使用する理科備品や実験消耗品の購入などに活用いただく予定です。

## 「いばらきおいしいもの巡り」の制作



食関連事業者の皆さまの販売促進支援や茨城県の観光振興を図るため、「いばらきおいしいもの巡りーちょっとおでかけ旅ガイド」を制作しました。「旅して、食べて、いばらきを応援」をコンセプトに、茨城県内外の自慢の「一品」を地域ごとに分け、主要な観光スポットとともにご紹介しています。また、バイヤーの皆さまにもご利用いただけるよう企業向け商品も掲載しています。

## close up!!

### 〈常陽銀行と群馬銀行との地域連携事業〉がんばっぺ茨城! 100円試食店 in 高崎

平成26年1月、北関東自動車道の全線開通による茨城県と群馬県のアクセス向上にともない、群馬県内の皆さまに茨城県の名産品を紹介する試食・販売会を開催しました。当行と群馬銀行のネットワークを活用した食関連事業者の販路拡大支援を通じて、地域経済の一層の活性化を図ることを目的としています。また、出展社と群馬県内のスーパーマーケット等のバイヤーとの商談会も実施しました。平成26年4月には、群馬県内の名産品を茨城県内でご紹介する「群馬のい〜もの大発見! in 水戸」を開催しました。



約3,000名のお客さまに来場いただきました。

# 業績ハイライト

## Point

貸出金利回りの低下による資金利益の減少等により業務純益は減少したものの、株式等関係損益の増加や信用コストの減少等により、経常利益、当期純利益ともに前年度を上回りました。

**業務純益**は前年度比82億円減少の372億円、**経常利益**は同41億円増加の358億円、**当期純利益**は同16億円増加の220億円となりました。**自己資本比率**については、平成26年3月末より、バーゼルⅢ(国内基準行)基準で算出しております。連結で12.60%、単体で12.19%となり、引き続き高い水準にあります。

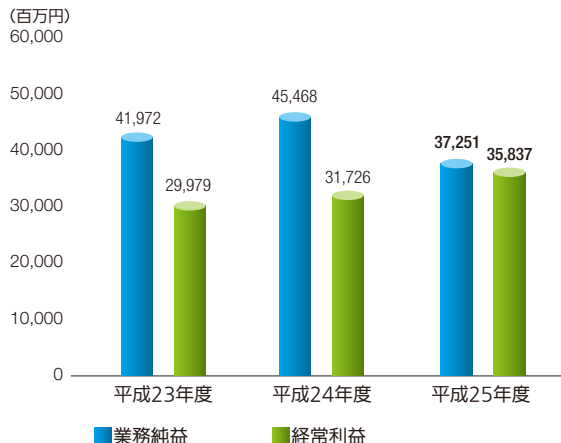
### <用語解説>

#### 自己資本比率

銀行の経営の健全性を表す代表的な指標で、リスク・アセット(総資産のうち、万一の場合に貸し倒れの可能性がある資産)に対して資本金などの自己資本がどれくらいあるかを示します。国内のみで活動を行う銀行は4%以上の自己資本比率が求められています。

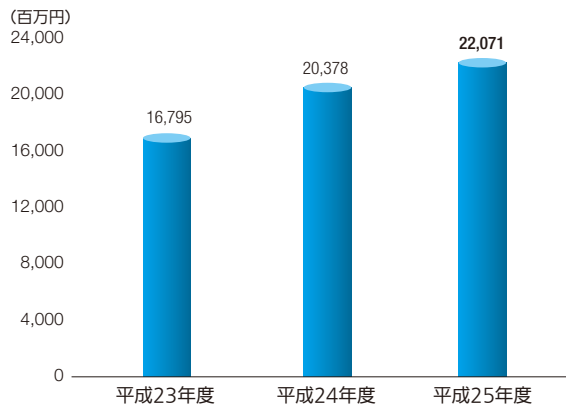
## 業務純益、経常利益

**業務純益**は前年度比82億円減少し、372億円、**経常利益**は同41億円増加し、358億円となりました。



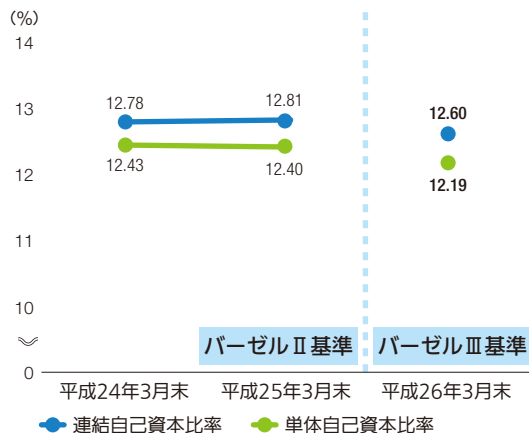
## 当期純利益

**当期純利益**は前年度比16億円増加し、220億円となりました。



## 自己資本比率

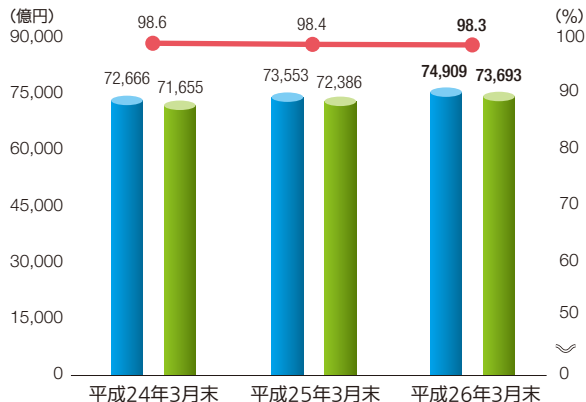
引き続き高い水準にあります。





### 預金

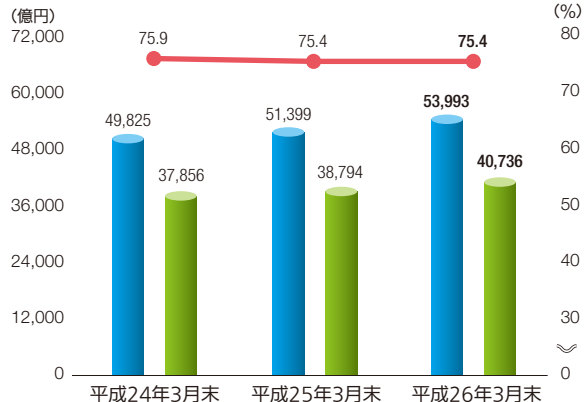
前年度末比1.8%増加し、7兆4,909億円となりました。



■ 預金残高 ■ 地域の預金残高 ● 地域の預金残高比率  
 ※『地域』とは、茨城県とその近隣の地域で、営業拠点を有する当行の主要な営業地盤です。(茨城、福島、栃木、埼玉、千葉、宮城)

### 貸出金

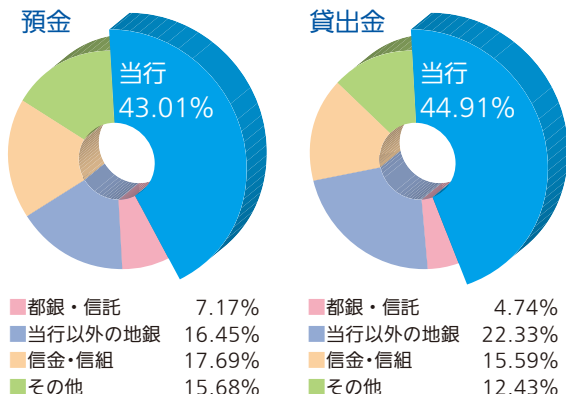
前年度末比5.0%増加し、5兆3,993億円となりました。



■ 貸出金残高 ■ 地域向け貸出金残高 ● 地域向け貸出金比率  
 ※地域向け以外の貸出金は都内・大阪での貸出金で、主として上記の地域に工場や事業所を有するなど、地域と関連の深い企業のお客様向け貸出金です。

### 茨城県内のシェア (平成25年9月末現在)

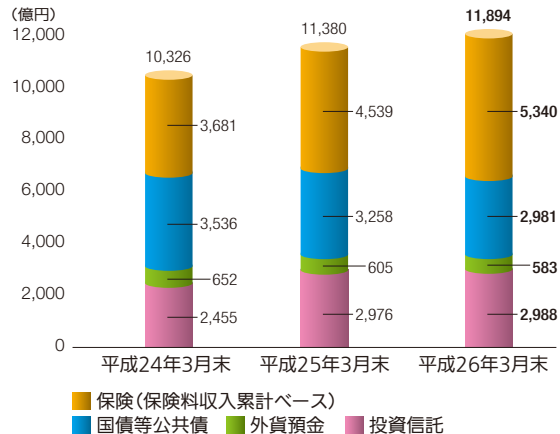
預金・貸出金ともに、引き続き40%を上回る高いシェアを確保しています。



※シェアは民間金融機関ベースで算出しています。

### 預り資産

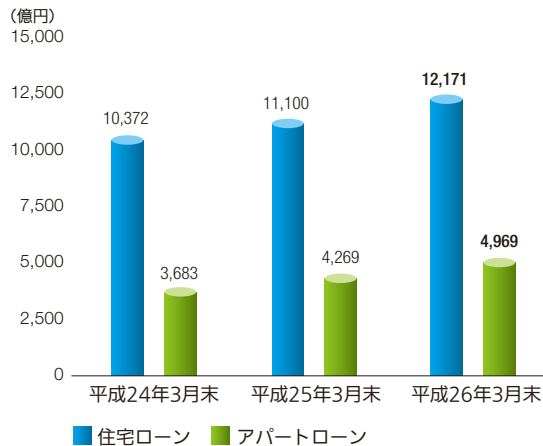
前年度末比4.5%増加し、1兆1,894億円となりました。



# 業績ハイライト

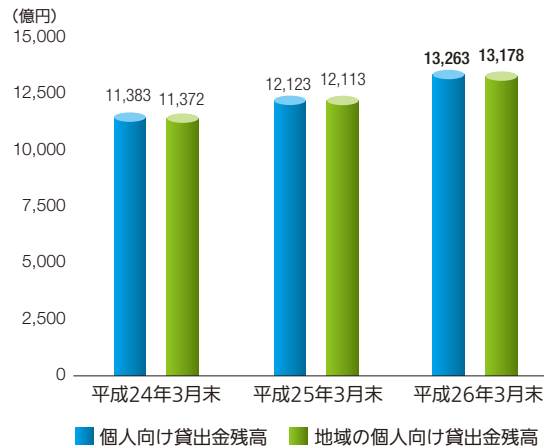
## 住宅関連ローン

住宅ローンは前年度末比9.6%増加し、1兆2,171億円となりました。

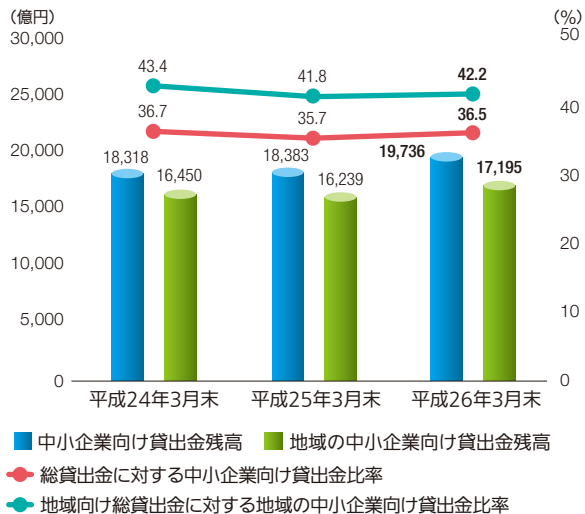


## 個人向け貸出金

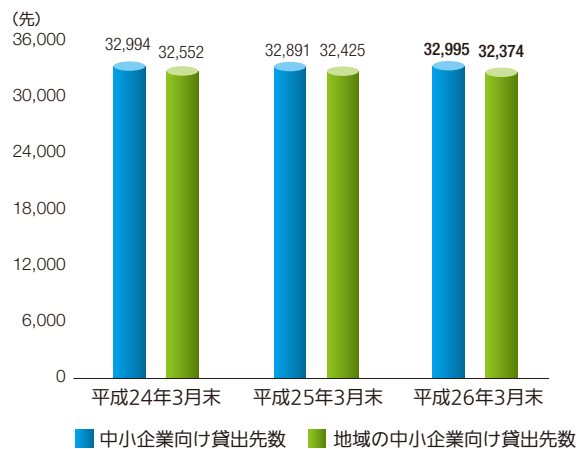
個人向け貸出金は住宅ローンが引き続き堅調で、1兆3,263億円となりました。



## 中小企業向け貸出金



## 中小企業向け貸出先数



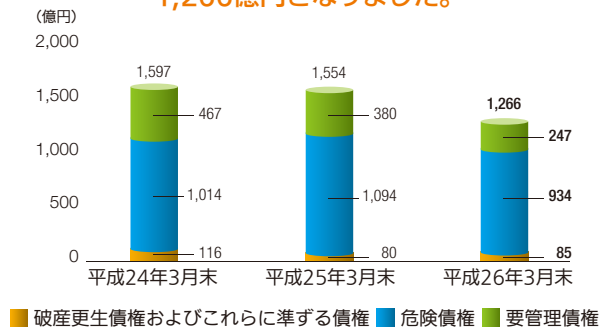
# 資産の健全性

## 金融再生法に基づく開示債権[単体ベース]

当行は、金融再生法に基づき資産査定結果を公表しています。金融再生法では貸出金のほか、支払承諾見返、未収利息、外国為替、仮払金、当行が保証し引き受けている私募債、貸付有価証券等についても開示の対象となっています。

### 開示債権額

金融再生法に基づく開示債権額は  
1,266億円となりました。



(注)記載金額については、億円未満を四捨五入して表示しています。

### <用語解説>

#### 破産更生債権およびこれらに準ずる債権

破産、会社更生、民事再生等により経営破綻した貸出先への債権およびこれらに準ずる債権のことです。

#### 危険債権

経営破綻はしていないが、財政状態などが悪化し、元金または利息の支払いが困難になる可能性が高い貸出先への債権のことです。

#### 要管理債権

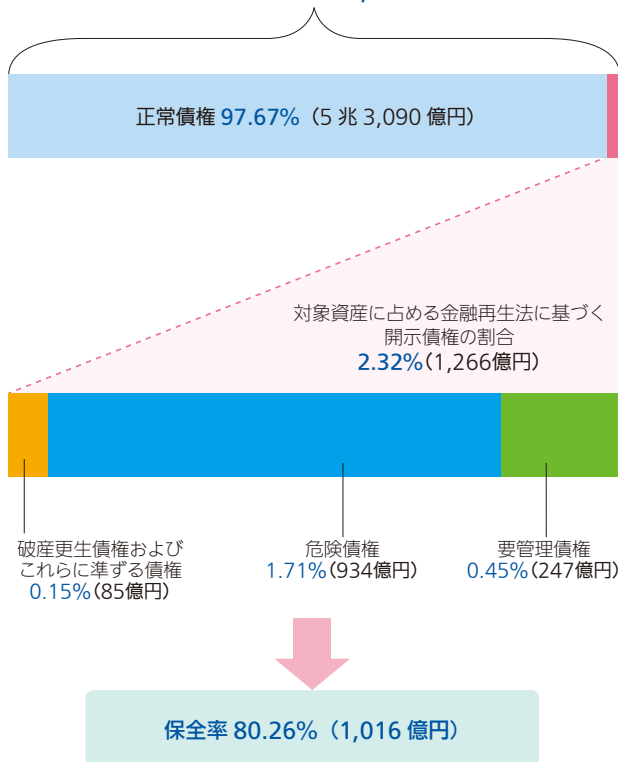
3カ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権の合計で、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」「危険債権」を除きます。

#### 正常債権

貸出先の財政・経営状態に特に問題がないものとして、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外に区分される債権のことです。

## 資産査定額および開示債権の健全状況

対象資産残高 5兆4,355億円



(単位:億円)

	保全額	保全率
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	85	100.00%
危険債権	814	87.14%
要管理債権	117	47.50%
合計	1,016	80.26%

(注)記載金額については億円未満を四捨五入して表示、比率については小数第2位未満を切り捨てて表示しています。

## お客さまのライフステージに合わせたご提案

当行は、お客さまのライフステージに合わせたさまざまな商品・サービスをご用意しています。

### 新社会人

社会人デビューを  
サポートします。



#### ●お給料の受取に『常陽総合口座』

常陽総合口座は、お給料の受取から、各種料金のお支払い、貯蓄まで、一つの口座でさまざまな取引が一元化できます。

#### ●ご来店手続き不要『マイカーローン』

自動車、オートバイの購入資金や、車検・免許取得費用等にご利用いただけます。事前審査はインターネットやFAXで、いつでもお申し込みいただけます。

#### ●便利なサービス『インターネットバンキング アクセスジェイ』

パソコン、スマートフォン、携帯電話から、残高照会・お振込み・投資信託などのお手続きができるサービスです。また、アクセスジェイを利用して住宅ローン・リフォームローンの一部繰上げ返済をお申し込みいただいた場合は、手数料無料で手続きいただけます。なお、より多くのお客さまにご利用いただけるよう、平成26年2月よりアクセスジェイの月額利用手数料を無料としました。

### 結婚・出産

ご家族の安心を  
サポートします。



#### ●無理なく貯める『積立商品』

住宅購入やお子さまの教育資金のご準備には、毎月コツコツ積み立てる商品が便利です。積立式の定期預金、投資信託、外貨貯蓄預金をご用意しています。

#### ●万一の備えに『保険商品』

生命保険や医療保険、学資保険の取り扱いをしています。ライフステージに応じた保険商品をご提案し、お客さまの生涯設計をサポートいたします。



### マイホームご購入

夢の実現を  
サポートします。



#### ●住宅ローン

ご自宅の新築・購入や借換など、住まいづくりをサポートします。ローンプラザでは、全店で土・日曜日も営業しております。また、地域と連携し、新婚世帯や子育て世帯の住宅購入に向けて、住宅取得助成金制度等をご利用のお客さまを対象とした「子育て支援住宅ローン」を取り扱っています。

### お子さまの 進学

#### ●教育ローン 『学援生活』

お子さまの入学金、授業料や仕送りなど、教育に関する費用にご利用いただけます。資金が必要な時にATMでご利用(お借入れ・ご返済)ができるその都度タイプ(当座貸越型)もご用意しています。

## 退職後

ゆとりある生活を  
サポートします。



## ●これからの暮らしのために『資産運用』

投資信託、保険、公共債など多彩な商品をご用意しています。少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」開始に合わせ、投資信託商品の品揃えを拡充しました。また、平成25年10月より、あらかじめご希望の積立期間が設定できる「常陽 積立投信『プラスT』」の取り扱いを開始しました。さらに、当行へ退職金をお預け入れいただくお客さまには「常陽ネクストライフ定期預金」、公的年金をお受け取りいただいているお客さまには「金利優遇定期預金（年金型）」がご利用いただけます。

## ●不動産の有効活用に『常陽リバースモーゲージローン』『常陽サ高住専用ローン』

「常陽リバースモーゲージローン『住スタイル』」では、お住まいにならない住宅を活用し、高齢者施設への入居や住み替え先の購入、趣味などセカンドライフの充実を図る資金等にご利用いただけます。また、土地活用として、サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）の新築・増改築にご利用いただける「常陽サ高住専用ローン『シルバーステージ』」のほか、土地信託やアパートローンも取り扱いしています。

## ●大切なご家族のために『常陽教育資金贈与専用預金』

お孫さまなどの教育資金の贈与にご活用いただける「常陽教育資金贈与専用預金（愛称：応援家族）」を取り扱いしています。本預金にお預け入れいただいた資金を教育資金のお支払いに充当した場合、最大1,500万円が非課税となります。大切なご家族の未来を応援いたします。また、代理店業務として遺言信託や遺産整理業務も取り扱いしています。

## close up!!

## 新店舗開設

平成25年10月、埼玉県さいたま市のJR大宮駅近くに「さいたま支店」を開設しました。関東圏域の代表的な中核都市への進出により、当行の店舗ネットワークが一段と拡充しました。また、平成26年4月、小山支店内に先行開設していた「栃木支店」を栃木県栃木市のJR栃木駅近くに移転しました。なお、それぞれの支店に「さいたまローンプラザ」、「栃木ローンプラザ」を併設しています。



## 女性の活躍を支援

茨城県と連携し、地域における女性の活躍をサポートする取り組みを行っています。平成25年12月と平成26年2月、当行女性行員が講師となり「女性を楽しむ生き方」や「ライフプラン設計」などをテーマとしたセミナーを開催しました。金融の知識を身につけ、就労への意欲などを持っていただくことで、地域における女性の活躍を支援し、豊かな生活の実現と地域経済の活性化に貢献したいと考えます。



## ものづくり事業支援

地域のものづくり事業者の明日からの10年を支援する「next X(ネクストテン)」活動を展開しています。

次の10年を協創します、  
お客様とともに。

**next X**  
10年ロードマップ協創プロジェクト「ネクストテン」

ネクストテン活動では、大手企業も多数参加する技術商談会「常陽 ものづくり企業フォーラム」や大和ハウス工業株式会社との事業協創プロジェクト「アクションD」の実施など、新規ビジネスの創出や企業間連携、販路開拓を促進するための支援を展開しています。また、大学や研究機関の先生方と技術開発や製品開発に関する意見交換を少人数で行う「ひざづめミーティング」などの産学官金連携支援や、「常陽 製造業実務研修会」の開催による人材育成支援など、当行のネットワークを生かしたさまざまな支援に取り組んでいます。



常陽 ものづくり企業フォーラム



事業協創プロジェクト「アクションD」  
個別プレゼンテーション

## 産学官連携チーム

ものづくり企業の支援には、企業の持つ技術や製品を評価する力が必要とされます。この目利き力を充実させるため、外部機関・メーカー出身のコーディネーター3名と支店長経験者2名による産学官連携チームを設置し支援態勢を強化しました。各種補助金の申請支援に加え、当行のコーディネート力を発揮して、大学・研究機関等の外部機関や企業間の連携による新技術・商品開発、事業拡大など企業の成長をサポートしています。

## アグリビジネス支援

食関連事業者の販路開拓支援として、「常陽 食の商談会」や、全国の地方銀行と連携した「地方銀行フードセレクション」を継続的に開催し、お客さまへ新たな商談・交流の機会を提供しています。また、茨城県農業信用基金協会の保証を活用した「大地」シリーズや肥育牛を担保とした「動産担保融資(ABL)制度」の取り扱いなど、農業者向けの融資商品の充実を図っています。また、ネクストテン活動をアグリビジネス分野にも拡充し、産学官金連携を強化しています。



地方銀行フードセレクション

## 海外進出支援

外国銀行をはじめ他機関と業務提携し、現地通貨建てのスタンドバイクレジットの発行や情報提供などを通じてお客さまの海外進出をサポートしています。平成25年度には、フィリピンの「バンコ・デ・オロ・ユニバンク」およびベトナムの「ベトコムバンク」と新たに業務提携をしました。

また、マッチングイベントでは、シンガポールで「食の商談会」、中国・上海と広東でそれぞれ「日中ものづくり商談会」を開催し、現地企業との商談と出展社間の交流の場を提供しました。

さらに、現地駐在員をはじめ、海外の他機関へ行員を派遣するなど、各方面からお客さまの海外進出をサポートする態勢を整えています。なお、平成26年秋にニューヨーク駐在員事務所の開設を予定しており、当行の海外拠点網は、上海、シンガポール、ニューヨークの3駐在員事務所となります。



日中ものづくり商談会@上海

## 医療・福祉事業支援

少子高齢化の進展、社会保障制度改革、医療の高度化などにより、病院の改修や事業転換、介護事業への参入など、さまざまな金融ニーズが予想されています。こうしたニーズにお応えするため、本部内に医療・福祉チームを設置し、中長期的な事業展開・新規開業に関するコンサルティング、セミナーを通じた情報提供などを行っています。また、平成25年4月に「常陽クリニックサポー



トローン」の商品内容を改定しました。ご融資限度額の拡大に加え、金利優遇の対象項目を追加し、より便利にお使いいただけるようにいたしました。

## 環境・新エネルギー支援

持続可能な社会の実現に向けて、環境保全に取り組む企業を支援しています。太陽光発電事業を中心とした再生エネルギーの活用や省エネなど、環境保全を推進する設備資金へのご融資の金利を優遇しているほか、環境格付制度を導入するなど環境金融に取り組んでいます。「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」への対応では、「動産担保融資(ABL)制度」を活用した太陽光発電事業支援融資制度の取り扱いをはじめ、太陽光パネル製造業者等との仲介や常陽産業研究所のコンサルティング機能を活用した事業相談など、さまざまなニーズにお応えしています。



## 事業再生ファンド

県内金融機関等との共同出資による事業再生ファンド「茨城いきいき2号ファンド」、株式会社リサ・パートナーズとの共同出資による「常陽事業再生ファンド」を組成し、事業の早期再生を支援しています。また、外部機関等との連携拡大によるコンサルティング機能強化にも取り組み、中小企業の事業支援態勢の充実を図りました。

## 法人・事業主向けインターネットバンキング 「JWEBOFFICE (ジェイウェブオフィス)」

残高・明細照会、振込・振替、総合振込、給与振込、代金回収などのお取引がどこからでもご利用いただけるインターネットバンキングサービスです。また、「常陽でんさいサービス」もご利用いただけます。JWEBOFFICEを通して株式会社全銀電子債権ネットワーク(通称「でんさいネット」)に電子記録債権の金額や支払期日等を登録することにより、債権の譲渡や割引による資金調達などが行えます。



## 株式会社常陽産業研究所

地域活性化の調査研究の受託やコンサルティング業務を行っています。中小企業診断士やISO審査員など、専門スタッフを揃え、地域の皆さまが抱えるさまざまな課題の解決をサポートしています。

## 一般財団法人常陽地域研究センター

茨城県をはじめ、経済諸団体、研究機関などと連携し、経済・産業動向、地域開発などの調査研究や出版、講演会の開催、講師の派遣などを通じて、地域経済・社会の発展に貢献する活動を行っています。

## 地域密着型金融への取り組み

地域経済は地域金融機関の存立基盤であり、地域への円滑な金融商品・サービスの提供を通じて、地域経済・社会の発展に貢献していくことが、地域金融機関の社会的使命です。

この社会的使命を果たしていくため、当行は、以下の3項目を重点項目として、『地域密着型金融への取り組み』を進めてまいります。

### (1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

- 創業・新事業支援
- 事業承継・M&Aの支援
- 経営改善支援・事業再生支援

### (2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底

- 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資手法の拡充
- 取引先企業の事業価値を見極める「目利き能力」の向上
- 多様な手法を用いた資金供給の徹底

### (3) 持続可能な地域経済への貢献

- 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取り組み

## 金融円滑化への取り組み

当行では、地域社会・地域経済の維持・発展に貢献することが、地域金融機関としての重要な使命であると考え、平成22年1月に制定した「金融円滑化の取組方針」にもとづき金融円滑化に取り組んでまいりました。平成25年3月に「中小企業金融円滑化法」は期限を迎えましたが、金融仲介機能を積極的に発揮するため引き続き金融円滑化に真摯に取り組んでまいります。また、中小企業の事業支援では、円滑な資金供給をはじめ、グループ会社や外部機関等との連携によるコンサルティング機能を活用し、事業ステージに応じたさまざまな支援に取り組んでまいります。

### 貸付条件の変更等の実施状況(平成26年3月末基準)

	中小企業者向け		住宅資金借入者向け	
	件数(件)	金額(百万円)	件数(件)	金額(百万円)
受付合計	66,141	1,520,027	3,118	33,805
うち実行	63,262	1,465,923	2,582	27,276
うち謝絶	497	9,879	69	819
うち審査中	600	9,811	35	375
うち取下げ	1,782	34,412	432	5,334

注1. 金額は単位未満を切り捨てて表記しています。

注2. 件数および金額は、金融円滑化法施行日(平成21年12月4日)から上記基準時点までの累計となっています。また、件数は債権単位、金額は申し込み時点の債権額となっています。

### 融資ホットライン(フリーダイヤル)

お借入れ条件の変更等に関するご意見・ご要望・苦情などを専門窓口で受け付けています。

☎ 0120-650-225

受付時間：午前9時～午後5時(銀行休業日を除く)



## 環境保全活動への取り組み

### 環境理念(平成20年制定)

常陽銀行グループは、水と緑に恵まれた茨城県を主要な営業地盤とする企業として、豊かな自然環境を守り育てていくことが、私たちの「社会的使命」と考えています。ふるさとの環境を守り、持続可能な社会を実現するため、地域と連携協力し、環境保全活動に継続して取り組んでまいります。

### 日本の森を守る地方銀行有志の会

全国の地方銀行が設立した「日本の森を守る地方銀行有志の会」へ参加しています。平成25年4月には、東日本大震災で被害を受けた東北地区の自然環境の復興に貢献することを目的として「東北サミット」を開催し、あわせて被災地域の森林保全活動に取り組みました。

### 常陽ふるさとの森



平成21年9月、茨城県、いばらき森林づくりサポートセンターと「いばらき協働の森パートナーズ協定」を締結し、那珂市に「常陽ふるさとの森」を創設しました。間伐や植樹活動などを通じて、ふるさとの緑を守り育てる森づくりに取り組んでいます。そのほか、ひたちなか市や筑波山での植樹活動を実施しています。また、那珂市の「常陽ふるさとの森」を地元小学校の森林保全体験学習に活用いただき、環境教育の支援にも取り組んでいます。



### 環境に配慮した店舗づくり

新店舗を中心に、順次太陽光パネルやLED照明を設置するなど、環境に配慮した店舗づくりを進めています。



### 公益信託「エコーいばらき」環境保全基金

茨城県内で環境保全に取り組む団体などに対して助成を行っています。平成25年度は、助成先のひとつである「水戸市立国田中学校」の環境保全活動の取り組み状況視察および助成金贈呈式を行いました。

- 概要：平成4年、当行と日本興亜損害保険株式会社により共同で設立。毎年、助成希望者を募集し、運営委員会で審議・選定のうえ助成

○平成25年度助成金：85件923万円



## バリアフリーへの取り組み

### パンフレット「人に優しい銀行をめざして」

ご高齢のお客さまや、障がいのあるお客さまへの各種商品・サービスなどを一覧にご案内しています。また、点字文書もご用意しています。



### 「サービス介助士2級」資格取得者の配置



「視覚障がい者の手引き」研修

身体の不自由なお客さまやご高齢のお客さまに安心してご利用いただけるよう、「サービス介助士2級」資格取得者約200名を営業店等に配置しています。

### 車いすの配備

身体が不自由なお客さまやご高齢のお客さまに安心してご来店いただくため、153カ店に車いすを配備しています。

### ATM画面のユニバーサルデザイン化

多くのお客さまに使いやすいようボタンや文字を大きくし、さまざまな色覚特性に配慮した配色、コントラストを採用し、デザインなどを最適化しました。また、点字ボタンのついた受話器でお取引いただける視覚障がい者対応のATMも全店に配備しています。



### 認知症サポーターの養成

認知症について正しく理解し、認知症の方やそのご家族を温かく見守り支援する「認知症サポーター」の養成に努めており、全役職員が「認知症サポーター養成講座」を受講する取り組みを行っています。

## 公益財団法人常陽藝文センター

「芸術・文化を通じて潤いのある郷土づくり、豊かでゆとりのある暮らしづくりに寄与する」ことを目的として、文化普及事業と郷土の文化活動の支援などを中心



藝文学苑つくば教室開設1周年記念「幸田浩子 ソプラノリサイタル&タンゴコンサート」

に、地域の皆さま方と連携して活動を進めています。

また、平成25年度は、編さんの詔(みことり)から1300年となる『常陸国風土記』について、機関誌「常陽藝文」への連載やパネル展示、講演会などを開催しました。

## 常陽史料館

貨幣や銀行に関する資料を展示する「貨幣ギャラリー」のほか、郷土文化や金融に関する図書資料を公開する「史料ライブラリー」を備えています。また、「アートスポット」では、随時、企画展示を行っています。



アートスポット

そのほか、「金融教室」を開催し、地域の皆さまに金融の歴史などの講義を行っています。

## 常陽ボランティア倶楽部

約3,200名の会員が福祉関連、環境問題、国際交流、スポーツ交流、イベント参加などの分野別に登録し、活動しています。また、東日本大震災の被災地支援活動や、募金活動も行っています。平成25年10月、福島県で行われた「南相馬市鎮魂復興市民植樹祭」に参加しました。



南相馬市鎮魂復興市民植樹祭

## 資本金の推移 (平成26年3月31日現在)

(単位：百万円)

	当年度末	前年度末
資本金	85,113	85,113

## 株式の状況 (平成26年3月31日現在)

株式数	発行可能株式総数	2,167,515千株
	発行済株式の総数	789,231千株
株主数		28,232名
大株主		

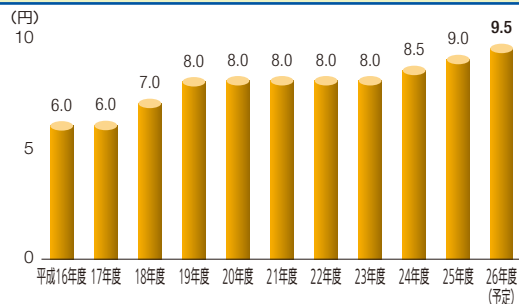
株主名	当行への出資状況	
	持株数等(千株)	持株比率(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	28,992	3.88
日本興亜損害保険株式会社	28,973	3.88
日本生命保険相互会社	26,603	3.56
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	22,914	3.07
第一生命保険株式会社	17,049	2.28
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY	16,520	2.21
住友生命保険相互会社	16,448	2.20
ノーザントラスト カンパニー エイ ブイエフシー リユーエス タックス エグゼンプテド ペンション ファンズ	15,165	2.03
ステート ストリート バンク アンド トラストカンパニー 505223	14,556	1.95
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	14,202	1.90

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。  
 2. 持株比率は、自己株式を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 3. 当行は、自己株式を43,438千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

## 利益配分方針

自己株式買取額と配当金を合わせて、単体当期純利益の40%以上、うち配当金につきましては30%以上を目安として還元することを当面の方針といたします。なお、平成26年度の1株当たり配当金は、年間9.5円を予定しています(中間配当4.5円、期末配当5円)。

## 1株当たり年間配当金の推移



## 株主優待制度

地元特産品を掲載した株主優待カタログから、保有株式数に応じてお好みの特産品をお選びいただけます。なお、株主優待カタログは、毎年3月末時点の株主さまを対象に6月の発送を予定しています。

保有株式数	お選びいただける特産品
1,000株以上 5,000株未満	2,500円相当
5,000株以上 10,000株未満	4,000円相当
10,000株以上	6,000円相当

- (注) 1. 本優待制度は、株主ご本人さまのみご利用いただけます。ご家族・ご親戚を含む第三者への譲渡・貸与等はできません。  
 2. 本優待制度のご利用方法等につきましては、対象株主さまにお送りする株主優待カタログをご参照ください。

## 個人投資家向け会社説明会

個人投資家の皆さまに当行の業績や営業状況をより深く理解していただくことを目的に、証券会社と連携し、投資家向け会社説明会を開催しています。

# 財務諸表(連結)

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	平成 25 年度末 (平成 26 年 3 月 31 日現在)
<b>(資産の部)</b>	
現金預け金	224,661
コールローン及び買入手形	7,181
買入金銭債権	14,660
特定取引資産	3,387
有価証券	2,760,304
貸出金	5,363,389
外国為替	2,251
リース債権及びリース投資資産	36,081
その他資産	47,812
有形固定資産	96,121
無形固定資産	10,902
繰延税金資産	2,245
支払承諾見返	14,522
貸倒引当金	△ 46,915
投資損失引当金	△ 35
<b>資産の部合計</b>	<b>8,536,571</b>
<b>(負債の部)</b>	
預金	7,479,902
譲渡性預金	10,030
コールマネー及び売渡手形	71,839
債券貸借取引受入担保金	105,996
特定取引負債	141
借入金	218,248
外国為替	353
社債	15,000
信託勘定借	19
その他負債	62,790
役員賞与引当金	48
退職給付に係る負債	8,834
役員退職慰労引当金	39
睡眠預金払戻損失引当金	1,993
ポイント引当金	127
利息返還損失引当金	2
偶発損失引当金	1,505
特別法上の引当金	1
繰延税金負債	14,352
再評価に係る繰延税金負債	11,872
負ののれん	1,975
支払承諾	14,522
<b>負債の部合計</b>	<b>8,019,600</b>
<b>(純資産の部)</b>	
資本金	85,113
資本剰余金	58,574
利益剰余金	300,506
自己株式	△ 21,079
<b>株主資本合計</b>	<b>423,113</b>
その他有価証券評価差額金	86,445
繰延ヘッジ損益	△ 2,072
土地再評価差額金	12,184
退職給付に係る調整累計額	△ 5,656
その他の包括利益累計額合計	90,900
新株予約権	113
少数株主持分	2,843
<b>純資産の部合計</b>	<b>516,971</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>8,536,571</b>

## 連結損益計算書 (単位:百万円)

	平成 25 年度 (平成 25 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで)
<b>経常収益</b>	<b>159,179</b>
資金運用収益	95,180
(うち貸出金利息)	69,594
(うち有価証券 利息配当金)	24,854
信託報酬	25
役員取引等収益	24,279
特定取引収益	1,517
その他業務収益	7,800
その他経常収益	30,376
<b>経常費用</b>	<b>117,858</b>
資金調達費用	4,773
(うち預金利息)	2,579
役員取引等費用	7,136
その他業務費用	6,215
営業経費	72,785
その他経常費用	26,947
<b>経常利益</b>	<b>41,320</b>
特別利益	6
特別損失	1,159
税金等調整前 当期純利益	40,168
法人税、住民税 及び事業税	12,277
法人税等調整額	2,500
法人税等合計	14,778
少数株主損益調整前 当期純利益	25,389
少数株主利益	347
<b>当期純利益</b>	<b>25,042</b>

### 常陽銀行グループ

常陽コンピューターサービス株式会社  
株式会社常陽リース  
常陽信用保証株式会社  
株式会社常陽クレジット  
常陽ビジネスサービス株式会社  
株式会社常陽産業研究所  
常陽施設管理株式会社  
常陽キャッシュサービス株式会社  
常陽証券株式会社

# 財務諸表(単体)

## 貸借対照表

(資産の部)	
現金預け金	224,629
コールローン	7,181
買入金銭債権	14,660
特定取引資産	3,387
有価証券	2,752,517
貸出金	5,399,342
外国為替	2,251
その他資産	27,212
有形固定資産	88,578
無形固定資産	10,833
前払年金費用	4,756
支払承諾見返	14,522
貸倒引当金	△ 41,362
投資損失引当金	△ 35
<b>資産の部合計</b>	<b>8,508,476</b>

## (単位:百万円)

平成 25 年度末 (平成 26 年 3 月 31 日現在)	
(負債の部)	
預金	7,490,926
譲渡性預金	13,430
コールマネー	71,839
債券貸借取引受入担保金	105,996
特定取引負債	141
借入金	211,396
外国為替	353
社債	15,000
信託勘定借	19
その他負債	39,433
役員賞与引当金	48
退職給付引当金	4,325
睡眠預金払戻損失引当金	1,993
ポイント引当金	99
偶発損失引当金	1,505
繰延税金負債	18,893
再評価に係る繰延税金負債	10,908
支払承諾	14,522
<b>負債の部合計</b>	<b>8,000,835</b>
(純資産の部)	
資本金	85,113
資本剰余金	58,574
利益剰余金	290,841
自己株式	△ 21,699
<b>株主資本合計</b>	<b>412,829</b>
その他有価証券評価差額金	86,365
繰延ヘッジ損益	△ 2,072
土地再評価差額金	10,404
評価・換算差額等合計	94,697
新株予約権	113
<b>純資産の部合計</b>	<b>507,640</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>8,508,476</b>

## 損益計算書

(単位:百万円)

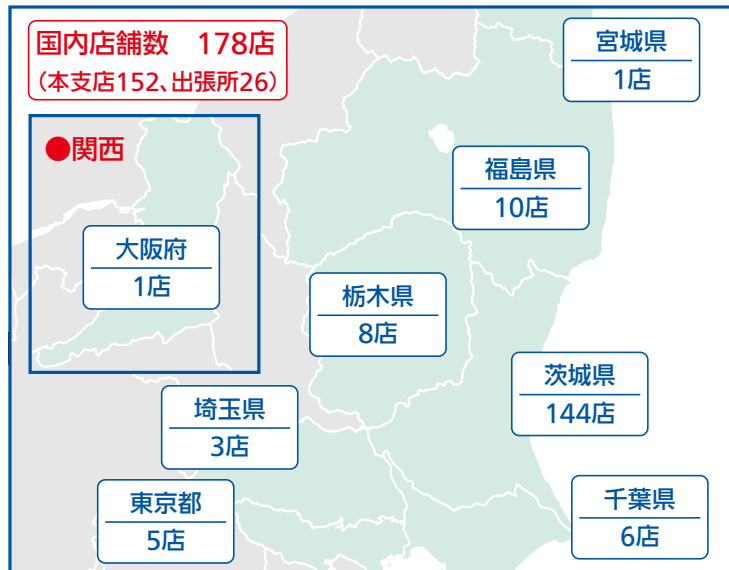
平成 25 年度 (平成 25 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで)	
経常収益	138,551
資金運用収益	95,316
(うち貸出金利息)	69,718
(うち有価証券 利息配当金)	24,827
信託報酬	25
役員取引等収益	21,251
特定取引収益	412
その他業務収益	7,784
その他経常収益	13,760
<b>経常費用</b>	<b>102,713</b>
資金調達費用	4,715
(うち預金利息)	2,582
役員取引等費用	8,099
その他業務費用	6,215
営業経費	71,909
その他経常費用	11,774
経常利益	35,837
特別利益	6
特別損失	691
税引前当期純利益	35,153
法人税、住民税 及び事業税	11,090
法人税等調整額	1,990
法人税等合計	13,081
<b>当期純利益</b>	<b>22,071</b>

# 常陽ネットワーク

お客さまとより多くの接点を確保するため、従来の店舗に加え、さまざまな営業チャネルをご用意しています。

営業ネットワーク (平成26年5月31日現在)

店舗・ATMのご案内ホームページ <http://www.joyobank.co.jp/tempo>



## ハローセンター ☎0120-380-057

電話による定期預金取引受付や商品照会の受付など、さまざまなサービスを提供しています。

受付時間: 平日/午前9時～午後8時(祝日・12/31～1/3を除く)

### 主なサービス内容

- 個人向け商品のご案内
- パンフレットなどの資料請求受付
- 定期預金電話受付サービス
- 店舗のご案内

## カードデスク ☎029-233-3611

常陽銀行が発行しているクレジットカードの各種照会の受付を承ります。

受付時間: 平日/午前9時～午後5時(祝日・12/31～1/3を除く)

## キャッシュピット受付センター ☎0120-56-8160

カードローン「常陽キャッシュピット」の電話での新規申し込み受付や商品照会の受付などを承ります。

受付時間: 平日・土・日・祝日/午前9時～午後9時(12/31～1/3を除く)

## 年金センター ☎0120-310-870

年金に関するご相談を、専門のコンサルタントが無料で承ります。

- 電話相談

受付時間: 月・水・金/午前9時～午後4時30分(祝日・12/31～1/3を除く)

- ご来店相談 (各店巡回相談・年金教室も随時開催) <予約制>

日本興亜水戸ビル2階: 月・水・金/午前9時～午後3時(祝日・12/31～1/3を除く)

## 投資信託に関するお問い合わせ ☎0120-438-240

投資信託についてのお問い合わせ、基準価額照会の受付を承ります。

受付時間: 平日/午前9時～午後5時(祝日・12/31～1/3を除く)

## インターネットバンキング「アクセスジェイ」

個人のお客さま向けに、インターネットバンキングサービスを提供しています。パソコン・スマートフォン・携帯電話を利用して、24時間いつでもお取引ができます。

- 「アクセスジェイ」ホームページ <http://www.joyobank.co.jp/access-j/>

## ローンプラザ(平成26年5月31日現在)

月 火 水 木 金 土 日

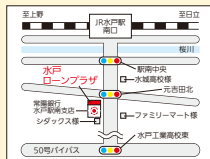
(定休日: 祝日・12/31~1/3)

月 火 水 木 金 土 日

(定休日: 水曜日・祝日・12/30~1/3) ※水曜日は、併設する店舗にて、ご相談を承ります。

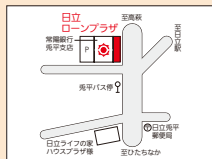
### 水戸ローンプラザ

☎029-247-6567  
水戸市元吉田町120-1  
常陽銀行水戸駅南支店内



### 日立ローンプラザ

☎0294-23-1380  
日立市城南町3-3-31  
常陽銀行兎平支店2階



### ひたちなかローンプラザ

☎029-271-2311  
ひたちなか市勝田中央6-1  
常陽銀行勝田駅前出張所2階



### 土浦ローンプラザ

☎029-823-8840  
土浦市桜町3-14-15  
常陽銀行桜町支店別館内



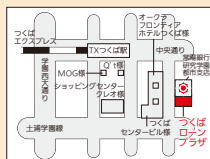
### ひたち野うしくローンプラザ

☎029-871-3331  
牛久市ひたち野東1-25-15  
常陽銀行ひたち野うしく支店2階



### つくばローンプラザ

☎029-856-2621  
つくば市吾妻1-14-2  
常陽つくばビル1階



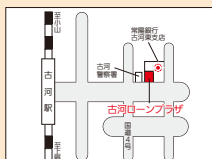
### 守谷ローンプラザ

☎0297-46-3950  
守谷市中央1-22-10  
常陽銀行守谷支店内



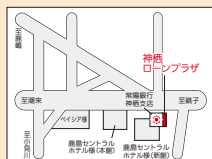
### 古河ローンプラザ

☎0280-32-8931  
古河市旭町1-1-15  
常陽銀行古河東支店内



### 神栖ローンプラザ

☎0299-93-2111  
神栖市大野原4-7-11  
常陽銀行神栖支店内



### 郡山ローンプラザ

☎024-935-2395  
福島県郡山市中町6-3  
常陽銀行郡山支店内



### いわきローンプラザ

☎0246-22-7101  
福島県いわき市平二丁目37-1  
常陽銀行平支店2階



### 宇都宮ローンプラザ

☎028-634-2631  
栃木県宇都宮市東宿郷3-1-7  
NBフ宇都宮ビル1階  
常陽銀行宇都宮東支店内



### 小山ローンプラザ

☎0285-22-1951  
栃木県小山市城東6-36-15  
常陽銀行小山東支店内



### 栃木ローンプラザ

☎0282-25-3471  
栃木県栃木市河合町3-2  
常陽銀行栃木支店内



### 流山おおたかの森ローンプラザ

☎04-7156-1901  
千葉県流山市東初石6-183-1  
ライフガーデン流山おおたかの森1階  
常陽銀行流山おおたかの森支店内



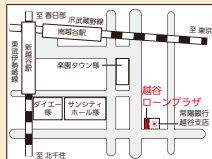
### さいたまローンプラザ

☎048-643-8610  
埼玉県さいたま市大宮区仲町2-65-2  
Vスクエア大宮  
常陽銀行さいたま支店内



### 越谷ローンプラザ

☎048-985-2155  
埼玉県越谷市南越谷1-1-35  
常陽銀行越谷支店内



ローンプラザでは、住宅ローンをはじめ各種個人ローンのほか、火災保険などの保険商品のご相談も承ります。また、ホームページからご来店予約ができます。

営業時間: 午前9時~午後4時30分(全ローンプラザ共通)

●土曜日・日曜日も営業しています。



**常陽銀行**

経営企画部広報室

〒310-0021 水戸市南町 2 丁目 5 番 5 号

☎ 029-231-2151 (代表)

<http://www.joyobank.co.jp/>

### 株式に関するお手続きについて

お手続き、ご照会等のお問い合わせ先：三菱 UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-7111

その他、詳細につきましては、当行ホームページをご覧ください。<http://www.joyobank.co.jp/kabunushi/>



この冊子は、再生紙を使用しています。